

平成25年度 午さん未さんたちの田作り**～第七期大椎っ子田んぼ・第四期あすみっ子田んぼ 草取り編～**

5月に1本植えた苗も、30センチほどに成長し、何本にも分けつし扇状のしっかりとした稲に育ってきました。田んぼの中にもコナギやアシなどの雑草がたくさん生え、畦も草におおわれてきました。大椎小学校は田植えも早かったため、6/3の学校休校日に先生方とボランティアのお母さん方とで田んぼの中の草取りをしました。あすみが丘小学校は、7/1に子どもたち数人が田んぼの中に入り草取りをしたり、お母さん方が刈ってくださった畦の草を田んぼに運んだりといった作業をし、大椎小学校は7/4に畦の草刈り作業をしました。作業前に金谷さんから「稲の成長を妨げる雑草とはいえ、草の命を殺めてしまうことだということを忘れないでほしい」と聞かされ、コナギも食べられる草と聞いて大事そうに持って帰る子もいました。刈った草は肥やしとなるように子どもたちに田んぼの中に入れてもらいました。自然観察では、網代さんや稲富さん（通称・赤シャツオヤジ）と、田植え時にはいなかったトンボや生き物の観察を楽しんでいました。

■大椎小学校

☆田んぼの草取りをしに谷津田にいきました。稲が大きくなっていました。自然観察では、田植えのときにはいなかったイトトンボ、オオシオカラトンボを見ました。自然観察をしながら、こんなすばらしい自然を大切にしようと思いました。たくさん生き物に会えてうれしかったです。（Y.A）

☆5月14日に田植えをしたときは8センチくらいだった苗が、2ヶ月たって30センチくらいにのびていました。1本だった苗も何本にもなっていました。さわってみると、葉の表はツルツルなのに裏はザラザラしていました。少し前にパパとおさんぽしながら見に行ったときには、13センチくらいだったので、とても成長が早いなと思いました。今まで土気は都会だと思っていたけれど、多くの自然に囲まれているんだなと思いました。（M.K）

☆田んぼは緑の苗がりっぱに育っていました。田植えをしたときにはとても小さくてこれでも育つのかと心配でしたが、くきも葉もたくさん増えてちゃんと育っていました。しかし、他の草も田んぼの中に生えていました。ぼくたちは、刈り取ってもらった草を田んぼの中の空いているところへばらまいていきました。田んぼの中に生えているコナギという雑草は食べられると聞いておどろきました。稲刈りのころが楽しみです。（H.S）

☆私がびっくりしたのは、田植えの時より苗が大きくなっていました。1本だった苗が10～15本ぐらいに増えていました。谷津田にはいろいろな絶滅危惧種の生き物がいます。谷津田にいっぱい自然があるからです。私は葉っぱで二ホントカゲをつかまえました。よく観察してからかえました。トカゲはとても大きかったです。それも自然が豊かだからだと思いました。また、谷津田に行ってよく観察したいです。（K.H）

☆田んぼにはカエル、オタマジャクシ、ヤゴくらしかないかなと思っていました。でも、行ってみると、ホトケドジョウやサワガニなど田んぼにいるとは思えない生き物がいました。おなかにタマゴのついたサワガニもいました。いろいろな生き物が観察できました。（Y.F）

☆草取り作業はいそがしかったです。ボランティアのお母さんたちが刈ってくれた草を田んぼにいれました。そのあとで、田植えのときに学校で観察するためにつれて帰ったメダカを、もといいた田んぼに放しました。大きく育ったメダカを放すとき、メダカはなかなかはなれませんでした。離れるのがイヤだったのかな？けっきょくはなれたのでよかったです。大きく育ててね。食べられませぬように。（S.I）

☆田植えをしたときには、あんなに小さかった苗が大きくなっていたのでおどろきました。田んぼのまわりには草もたくさん生えていました。また、田んぼにあんなにたくさんいたオタマジャクシがカエルになっていて、田んぼにはオタマジャクシがほとんどいませんでした。そのかわり、田んぼのまわりにはたくさんの小さなカエルがいました。前回、見る事ができなかったかたつむりもカウだけ見ることができました。今回はじめて見た生き物もいっぱいいました。楽しかったです。（Y.K）

☆田植えのときよりも苗が大きくなっていて、びっくりしました。1本植えた小さな苗は、何本にも増えておうぎ形に広がっていました。稲の成長ははやいんだなと思いました。自然観察では、いろいろな生き物を見ました。サワガニはとても大きなハサミを持っていました。シオカラトンボは田んぼのまわりにいっぱい飛んでいました。これからの稲の成長が楽しみです。（A.S）

☆田植えの時、観察用にメダカを預かりました。学校でエサやりをしたり、水そうをそうじしたりしてメダカを育てました。水そうの中にはメダカとタニシがいました。メダカは、かわいい小さな赤ちゃんを産んでくれました。草取り作業に行った時にメダカを田んぼに返しました。田んぼで大きく成長してほしいです。（M.I）

☆草取り作業では、田んぼの中に生えている雑草のコナギが食べられる草だと教えてもらいました。稲は田植えをしたときよりも成長していたので、びっくりしました。自然観察では、田植えの時よりたくさんの種類の生き物を見つけられました。次に谷津田に行ったときにどうなっているか楽しみです。（M.K）。

■あすみが丘小学校

☆私は紅組で最初に自然観察をしました。私は稲富さんからざるを借りて、田んぼの土の中にくらしている生き物や水面をすべるように泳いでいる、カエルやアメンボを観察しました。最初は少し触るのが苦手だったけど、人間と同じように一生懸命生きていることを思うと、だんだん触れるようになりました。後半は田んぼに入って草取りをしました。入る前に金谷さんが説明をしてくださいました。私が一番感じたことは、「私たちが田んぼに一步入ると、何万匹もの生き物の命をうばっている」ということです。私はそのことを心におきながら、そっと田んぼに入りました。これから、なるべくお米を残さないように気をつけようと思いました。

(Y.M)

☆わたしは7月1日のあすみたんぼでいろいろなことを知りました。自然観察ではアジロさんにいろいろ教わりました。田んぼの水より山から流れてくる水のほうが冷たく、夏でも15~16℃だということを学びました。見つけた生き物はカニ、おたまじゃくし、カエル、けむしでした。前に来た時よりもカエルが少なくなっているような気がしました。次に田んぼの草取りで知ったことは、一歩歩くごとに数十匹の虫の命がなくなっていることを知り、田んぼに入るときは少し注意しながら入りました。ほかに、稲が扇形になっていることなどを知り、金谷さんは何でも知っているな、と思いました。またいつか田んぼの草取りや自然観察をしたいな、と思いました。(T.T)

☆7月1日に前に植えた田んぼを見に行き、草刈りをしました。私は白組だったので、先に田んぼの草刈りをしました。始めはとても怖かったけど、入ってみると慣れてきてとても草刈りが楽しかったです。たくさん草が取れてよかったです。このままお米がちゃんと育ってくれるといいです。次に、紅組と白組がチェンジして紅組が田んぼの草刈りで白組が自然観察になりました。自然観察では、あまりオタマジャクシがいなくてほぼカエルになっていました。しかも、アメンボがうじゃうじゃいました。アメンボが獲物の汁を吸っているところを見ました。たくさんアメンボがいてびっくりしてしまいました。中でも一番怖かったのが、草のところに大きな毛虫がいたことです。オレンジ色の毛虫でした。私は毛虫に刺されたことはあるけれど、それよりも大きくてびっくりしてしまいました。たくさん生物がいておもしろいとおもいました。(M.N)

☆今日、学年で1か月ぶりに田んぼに行きました。田んぼに行くと5月の時と変化していたことを今から2つ書きます。1つ目は、苗の大きさです。5月に比べて、苗の大きさが大きい苗で倍ぐらいになってびっくりしました。2つ目は、生き物の種類が少し多くなったことです。5月の時の自然観察は、生き物の種類が少なく、いろいろな生き物を観察することはできなかったけど、今日はいろいろな種類の生き物、つまりおたまじゃくしやカエル、クモ、タニシ、メダカ、カニなどがいたので自然観察が楽しかったです。次に田んぼに来るのは10月ぐらいだと思うので、10月の苗の様子や生き物の種類を観察していきたいです。(Y.T)

☆ぼくは、2回目の自然観察をしました。1回目に行った時にクワの実があって、食べておいしかったです。だけど、2回目に行ってみたら、ありませんでした。残念でした。行動するときは、福田くんといっしょに行動しました。森から出る水は龍造くんといっしょにはかってみたら、約18度でした。とてもきれいで、すごく冷たかったです。その水といっしょにあった砂がきれいでした。砂金もありました。歩いていたら、ドジョウやシオカラトンボなどがいました。オタマジャクシのほとんどがカエルに変わっていました。(Y.Y)

☆田んぼに着いて、まず、周りの草が伸びたなあと感じました。その次に思ったことは、稲も伸びたなと感じました。田植えをした5月27日より10センチくらいは伸びたと感じました。でも、あきらかに気付いたことは、くきの数が多いことです。金谷さんがほり出して見せてもらうと、1~2本で植えた苗が10~20本ぐらいになっていました。そのことに私はびっくりしました。今回の草取りの時に私は思ったのです。稲のためにこんなに草を取り、大変な思いをして私たちがおいしくお米を食べていることをです。しっかり、稲たちが育って、自分・家族・おじいちゃん・おばあちゃん・いとこといろいろな人においしいお米を食べさせてあげたいです。(Y.N)



あすみ小の皆さんの絵



里山たんけんレポート

第 162 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2013 年 7 月 7 日 (日) 晴れ

高温、高湿度で熱中症が心配される予報になりました。暑いとは言いながら谷津は強い風が吹き抜けていて汗が流れ落ちると言うことはありませんでした。トンボはアカネの仲間が多く、小さいこどもには格好のトンボとりの相手になってくれました。アキアカネも捕らえられました。もう山地へ向かっていると思っていましたがまだいたのですね。コオニヤンマの若いきれいな個体が捕らえられました。サナエトンボの仲間が目を離れていること、頭部前面に一對の突起があることなどじっくり観察して放してやりました。こども達のお目当てはカブトムシでしたがちょっと時期が早く♂2・♀1が見られただけでした。まだこれから繁殖することになるので残念ですが放してもらいました。コクワガタ、クワカミキリなども見られました。ノブドウやヤブガラシが咲きクリは小さなイガをつけていました。イヌザクラの実の色づいていましたがウワミズザクラが色づくのはこれからのようでした。道中、ホトトギス、ウグイス、ホオジロの囀りが聞こえていました。

こども達は昼食後は水遊び、ドジョウ、オニヤンマのヤゴやザリガニ、をすくったり、U字溝に落ちたニホンアカガエルの子ガエルの救出などでひとしきり遊んだあと、今度は山でブランコで延々と遊んでいました。
(参加者 大人 12 名、こども 6 名； 報告：網代春男)

第 149 回下大和田 YPP「あぜの草取り」(兼、第 6 回米づくり講座)

2013 年 7 月 20 日 (土) 晴れ

総勢 20 名の方が参加して畔の草を刈りました。畔の平らなところは刈払機で刈り、畔の側面は鎌で刈ると言う方法で分担して効率よく作業することが出来ました。また、今日は企業ボランティア 3 名の方の協力もあり、この方々には小池さん脇の休耕田に生えたアシ、マコモ、ヒメガマを刈ってもらいました。大人たちはひたすら草を刈り、こども達はカブトムシ・クワガタムシ捕りやガマの穂での遊びに夢中でした。中川が見えないほど茂っていた草が刈られると川面が現れました。きれいになった小川のほとりで最後まで残っていた子供たちと写真を撮りました。

(参加者 大人 14 名、こども 3 名、幼児 3 名；
報告：網代春男)



第 95 回小山町 YPP「田んぼの草取り」

2013 年 7 月 14 日 (日) 晴れ

地元の方から引き受けて今年から新しく米づくりをすることになった田んぼで最後の田植えをしました。七十二候の一つ、半夏生(今年は 7 月 2 日)までには田植えを済ませないといけないと言われているので、ちょっと遅れ気味。そこで実りの遅い古代米の緑米を植えました。田んぼには一面に雑草が生えていて、それを抜きながらの作業はなかなか大変です。しかも、強い日差しで気温が 35 度近い猛暑。ちょっと動いただけで全身から汗が流れ落ちてきて、頭がくらくなります。休憩をこまめに取りながらがんばって、時間いっぱいちょうど田植えが終わりました。田んぼは 1 年稲を植えないだけで荒れてしまいます。初めての田んぼで水の管理など悪戦苦闘しましたが、何とか田植えを終えられてひと安心です。田んぼではシオカラトンボたちが気持ちよさそうに飛び回っていました。



(参加者：大人 5 名； 報告：高山邦明)

<谷津田・季節のたより>

小山町

- 7月 7日 ニイニイゼミが鳴き、田んぼではオモダカが咲き始める（高山）。
7月 14日 稲にナガコガネグモの幼体が網をかけている。ヤマユリ、アキノタムラソウが開花（高山）。
7月 21日 コシヒカリが出穂。稲の間でコナギが開花。アブラゼミが鳴き始める。田んぼにギンヤンマ、チョウトンボ、ショウジョウトンボの姿、マユタテアカネが羽化（高山）。
7月 27日 黒米が出穂。地元の方の田んぼのコシヒカリは穂が出そろう（高山）。

下大和田

- 7月 17日 ヤマユリ開花（網代）。
7月 21日 黒米出穂始める（網代）。
7月 22日 コシヒカリ出穂始める（網代）。

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ？ と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPのイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先（いずれも）：ちば環境情報センター（TEL&FAX：043-223-7807 E-mail：hello@ceic.info/）

- ご注意：・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないでください。
・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
・小学生以下のお子さんは保護者同伴で参加ください。
・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

▼150回下大和田 YPP「かかしづくり」(兼第7回米づくり講座)

田んぼの神様であるかかしを作り、収穫まで稲を守ってもらいましょう。みなさんのアイデアで思い思いのかかしを作ります。

- 日時： 2013年8月17日（土）10～14時 ☆小雨決行
場所： 千葉市緑区下大和田谷津田（ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。）
集合： 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に10:00（JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのかちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:53、9:08、9:23など> 料金は520円）
持ち物： 弁当、飲み物（暑いのでたっぷり）、長靴、帽子、軍手、敷物、もしあればかかしに着せる古着、帽子など。
参加費： ちば環境情報センター会員および家族100円、一般300円、小学生未満無料
主催： ちば環境情報センター 共催： ちば・谷津田フォーラム

▼第164回 下大和田9月の谷津田観察会とごみ拾い

虫の声の季節になってきました。秋の花も咲き始めます。小さな秋を探しながら初秋の谷津を巡ります。

- 日時： 2013年9月1日（日）10～12時 ☆小雨決行
場所： 千葉市緑区下大和田谷津田（ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。）
集合： 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に10:00（下大和田 YPP に同じ）
持ち物： 筆記用具、飲み物（暑いのでたっぷり）、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など
参加費： 100円（小学生以上、資料代など）
主催： ちば・谷津田フォーラム 共催： ちば環境情報センター

▼第96回 小山町 YPP「田んぼの草取り」

草取りや畦の補修など、収穫の時期に備えて田んぼの手入れをします。

- 日時： 2013年8月11日（日）10:00～12:30、小雨決行
場所： 千葉市緑区小山町 リンドウ広場（ご連絡いただければ地図をお送りします）
持ち物： 飲み物、長靴（田んぼでの作業なので長めがいいです）、帽子、軍手、敷物。
参加費： 100円（小学生以上、資料代など）
主催： ちば環境情報センター

編集後記 いつもよりも早く梅雨明けしたと思ったら突然の猛暑の日々。暑さが一段落したと思ったら西日本では豪雨、東北日本では低温とこの夏はなかなか激しい天気の様子で、稲や野菜の生育に影響が出ている地域が多いようです。下大和田や小山にみんなで植えた稲は順調に育っており、コシヒカリは無事穂が出ています。これからの天候次第でお米の実り方が左右されますが、さて今年はどうなるのでしょうか？ 9月後半から始まる稲刈りが楽しみです。（高山 邦明）